

2025 年 11 月 19 日

修繕船へのドライドックでの Truck to Ship 方式による LNG 供給を実施、修理期間の短縮を実現 ～次世代燃料供給の新たなマイルストーン～

佐世保重工業株式会社（以下、「当社」）は、西部ガス株式会社（以下、「西部ガス」）と共同で当社で修理中の自動車運搬船「Sakura Leader」への Truck to Ship 方式による LNG 供給を、2025 年 11 月 16 日～18 日にかけて当社の第 3 号船渠（370m×70m）において行いました。

当社は 2025 年 4 月にも西部ガスと共同で ISO タンクコンテナとローリーを併用した Truck to Ship 方式による LNG 供給を実施しておりますが（[2025040714000138SY2649Uj.pdf](#)）、今回は新たな取り組みとして当社にて大容量陸上燃焼装置、ガス加温器を運用することにより、国内でほぼ実績がないドライドックでの Truck to Ship 方式による LNG 供給を実現させました。これにより、修繕および検査工事施工から間断なく、より効率的な LNG 供給が可能となり、従来よりも修理工事の工期を短縮することができました。

LNG は脱炭素社会実現のための重要なトランジションエネルギーと位置付けられており、LNG を燃料とする船舶は堅調な増加が予想され修繕需要も増加傾向にあり、当社は LNG 燃料船のタンク内ガス置換、タンク冷却、クーラント供給、燃料供給を修繕工事から一貫して行う取り組みを進めています。

当社は今後も更に改善を重ね、効率的で安全な LNG 供給で次世代燃料船の運航を支えるとともに、地域社会の持続的発展に貢献できるよう努めて参ります。



以 上